

＝平成30年度早川南小学校だより＝

はるき



平成30年9月11日

No.21

校長 坂野修一

全国学力・学習状況調査について①



急に涼しくなりましたね。さて、文部科学省は7月31日、「全国学力・学習状況調査」の結果を公表いたしました。本校では、その結果を受け、夏季休業中の期間を利用しながら細かな分析を行い、成果と課題を全職員で共有し、本日、6年生の各家庭に結果を配付したところです。また、あわせて4月に行われた、3年生・5年生の山梨県学力把握調査結果につきましては、結果が7月上旬に戻ってきましたので、夏季休業中の学習に生かせるよう、既に各家庭に結果を配付したところです。

ご承知のとおり、本校は極小規模校であり、各クラスの構成人員も少数であることから、都市部や大規模校で行われているような、平均点を示しての結果公表は行いません。しかし、この機会に、顕著だった結果と、今後の学校での取り組み例を紹介します。(字が小さくてすみません)

A問題は主として知識力を、B問題は主として活用力を問われています。理科はAB区分けなし。

○…よかった点 △…課題となる点 ※…取り組み例

【国語A】

○かん理、せつ極的の漢字書き取り

△せつ備の漢字書き取り △文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く。

【国語B】

○推薦するためには、他のものと比較して書くことで、よさが伝わることを捉える。

△目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く。 △目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読む。

※文章全体の構成を捉えるために、中心となる語や文を見つけて各段落の要点をつかんだり、意味のまとまりをもとに段落相互の関係を考えたりする。また、筆者が取り上げた事例や考えを捉え、それに対する自分の考えを書くようにする。

※日頃から学習した漢字を使って文章を書くようにする。また、国語の教科に限らず、自分の言葉で学習のまとめを書く活動を取り入れていく。

【算数A】

○単位量当たりの大きさを求めるわり算の式と商の意味を理解している。 ○混み具合の比べ方を理解している。

△180° よりも大きい角の大きさを求めることができる。

【算数B】

○「4・6・8・10・12・14・16」の七つの数の和について、例文を参考に説明する。

△棒グラフと帯グラフを読み取り、一つの事柄についてまとめた文章に当てはまる言葉を選ぶ。

△メモとグラフを照らし合わせて、何を述べているのかを書く。

※問題の意図をつかむために、数直線や図を使って文章の読み取りを行ってから立式するようにする。

※問題文の読み取りに時間がかかるため、たくさんの文章問題に触れるようにする。

※整数・小数・分数の計算を通して、計算の決まりに繰り返し触れ復習をする。

【理科】

○ろ過の適切な方法を身に付けている。

○流れる水のはたらきによる土地の浸食について、斜面に水を流した時の立てた棒がどうなるか考える。

△食塩を水に溶かした時の全体の重さを考える。 △太陽の一日の位置の変化に合わせて、光電池の適切な位置や向きを考える。

※新たな学習に入る時は、既習学習を思い起こさせる。